

産後デイケア～む「ままり」の実施状況

(6月1日～6月30日)

1. 利用者数

延べ:48人 実:37人

2. 主な相談内容

- ・授乳に関する相談(飲ませ方、間隔、抱き方等)が多い。
- ・その他生活リズムについて、泣いて心配、体重の増え方が心配等

産後デイケア～む「ままり」の実施状況

(6月1日～6月30日)

1. 利用者の感想(アンケートから)

- ・ゆったりお話できた、じっくり話を聞いてもらえてよかった。
- ・ネットで調べるといろんな情報があつてどの情報が正しいのかわからなかったので聞けてよかった。
- ・子どものことは相談する機関が多くても産後の母体のことを聞ける場所は少ないのでありがたい。
- ・人の目を気にせず話を聞いてもらって良かった。
- ・家にいる感覚で気が休まった。
- ・家なのでアットホームな雰囲気、気を遣わずに良かった。

ままのまカフェの実施状況

26年度実績

会場	実施回数	延べ参加親子組数	従事母推数
ちびっこ広場	10回	125組	36人
てくてく	10回	162組	40人
ぐんぐん	10回	207組	34人
合計	30回	494組	110人

感想(母推・参加者の声)

- 市外・県外からの転入者の方にとっては、友達作りの場となっており、ままのまカフェから地域の親子サークルをお誘いするケースも多い。
- 子育ての悩みについて、お母さん同士で話し合いをしながら解決できることもある。子育て経験者(先輩ママ)に何か聞いてみたいという方が多くいられる。
- 家に子どもと2人であるよりはままのカフェに来るとほっとする。

ままのまカフェの実施状況

27年度は、子育ての駅(4ヶ所)と各地域のコミュニティセンター等(15ヵ所)に拡充して開催。
また、従事する母子保健推進員の人数を増やし、母子がゆったりとしたひとときを過ごせる場の提供と支援を実施する。

27年度4月～6月実績

会場	延べ実施回数	延べ参加親子組数	従事母推数
子育ての駅(4ヶ所)	9回	68組	28人
地域のコミセン等	18回	155組	70人

感想(母推・参加者の声)

- 27年度より子育ての駅では毎回助産師や栄養士を配置、相談者が多く子育てについて不安や悩みを抱えている方にとっては気軽に相談できる場となっている。
- 母推と共に地域のコミセンの協力も得られ、地域ぐるみの活動となっている。
- 母推が赤ちゃんの預かりや見守りし、母親同士が少しの時間でもゆったりした時間を過ごせるようにしている。
- 身近な場で、子育ての情報交換ができて楽しい、リフレッシュできるという声が多く聞かれている。→母推自身もとてもやりがいを感じている。

子育てコンシェルジュ

○コンシェルジュの配置

- ・子育ての駅ちびっこ広場
- ・子育ての駅てくてく
- ・子育ての駅ぐんぐん
- 各駅に1名配置



○統括コンシェルジュの配置

- ・子育ての駅ぐんぐんに1名配置
- (※2人の統括コンシェルジュが交替で勤務)

子育てコンシェルジュ

○主な相談内容

- ・子どもの発達や育児に関する相談
- ・家庭環境における悩み
- ・ニーズに応じた関係機関の情報
- ・関係機関への同行

○利用者の声

- ・普通の会話のなかで、気軽に相談しやすい。
- ・話を聞いてもらえて楽になった。